



## 黒田武志さん

リネットジャパングループ株式会社 代表取締役社長

不要になった本やCDなどを無料宅配サービスで買い取る「ネットオフ」に自然環境保護や社会福祉分野への寄付を組み合わせた仕組みが「スマイル・エコ・プログラム」。2007年からの寄付累計額が5,500万円を突破し、地球環境基金を自然環境保護分野の寄付先の一つとしてご支援いただいています。「スマイル・エコ・プログラム」のアイデアが生まれた背景や今後の抱負など、創業者の黒田武志社長にお話を伺いました。



サポーターインタビュー  
基金を支える方々

Heart & Heart  
Takeshi Kuroda

スマイル・エコ・プログラムの流れ

# 企業活動に社会貢献を組み込んで 持続可能な「偉大な作品」を創りたい。

寄付集めに大変苦労していると伺ったのです。アメリカのNPOを見ると、マーケティングがしっかりしていて資金調達力も高い。日本のNPOも資金の調達方法を進化させる必要があると感じました。同時に、企業にも何かできることはないだろうかと考えて思いついたのが「ネットオフ」の買取サービスに寄付を組み合わせることでした。

## 片づけのついでに 気軽に寄付を

— 具体的に、どのような仕組みになっているのでしょうか。

**黒田** ネットオフのサービスは中古品をお客様に売るだけでなく、仕入れとして年間約2000万冊の本を買って取っており、一般的な流通と違い、私たちがお客様にお金を支払う流れがあります。この流れをNPOの方に向けられないだろうかと考えました。そこで、お客様に買取金額をご提示する際に「ちょっといいことしませんか」と呼びかけることにしたのです。

— 「ネットオフ」利用者の10人に1人が寄付をしているそうですね。

**黒田** 買取サービスのニーズには換金だけでなく片づけの側面があります。引越しや大掃除で本を捨てるのは気が引けますが、ネットオフで次の人に渡るといえば思い切れるわけです。そこで私たちは本の選り好みを



黒田武志(くろだ たけし)  
1965年大阪府生まれ。大学卒業後、トヨタ自動車(株)に入社。1998年、同社を退社しブックオフコーポレーション(株)の起業家支援制度を利用して起業。2000年、(株)イーブックオフ(現リネットジャパングループ)を設立し代表取締役社長に就任。宅配買取によるリユース、リサイクル事業を展開している。

せず、すべての本を買い取ることにし、「部屋を片づけたら」というお客様のニーズに応えることにしました。部屋が片づいた上に買取金としてお小遣いが入れば、寄付しようという気持ちになりやすいでしょう。

また、お客様の関心は途上国の子どもの支援から環境問題まで多種多様なので、できるだけ多くのお客様を巻き込むために、いくつかの活動テーマから寄付先のNPO・企業等を選べるようにしました。自分でテーマを選ぶことで、改めて問題意識を持つていただくことにもつながります。

## 本業を頑張れば 社会貢献できる仕組み

— 「スマイル・エコ・プログラム」は、本業と社会貢献とが無理なく結び付いた効果的な仕組みですね。

**黒田** 私たちの企業理念は、「ビジネス

を通じて偉大な作品を創る」というものです。偉大な作品とは「収益性と社会性を両立したビジネスの仕組み」のこと。大企業でなくとも、本業に社会貢献活動の要素を組み込めば、本業を頑張ることで無理なく企業の収益と社会性を両立できます。

現在、JICAともカンボジアで「偉大な作品」を創作中です。日本に眠っている古い農機具をカンボジアで循環させていくビジネスで、私たちは中古農機具のレンタル・保守整備で事業収益を得ます。一方で、JICAなどの力を借りて職業訓練校を作り、農業支援や人材育成を行う。この結果、途上国の方たちが自立できれば、農機具のビジネスも大きくなるというわけです。

— さらにいろいろな作品が生まれれば素晴らしいですね。

**黒田** 2014年はネットオフで培

資金難のNPOに  
企業は何ができるか

— 「スマイル・エコ・プログラム」の寄付総額が5500万円を突破したそうですが、このアイデアはどこから生まれたのですか？  
**黒田** 当社の創業は2000年、まさにネットバブル全盛の時代でした。私たちが新しいネットベンチャーとして上場を目指して頑張っていたわけです。しかし、上場したベンチャーの華やかな話題を聞くにつけ、企業活動にはもっと社会的な存在価値があるはずだと思っていました。そんなときNPOの方々とお話をする機会があり、

宅配買取のノウハウを生かし、小型家電の回収を始めました。日本は資源がないと言われますが、都市にある家電製品に含まれる資源を回収できれば世界有数の資源大国になる。

この小型家電のビジネスにも社会貢献的な要素を加えたいと考え、具体的に動き始めています。実は400種類近くもある小型家電の分別作業は知的障がい者の雇用に向いているんです。自分で言うのもおこがましいですが、肩肘を張らなくても少し工夫するだけで、いろいろな作品を生み出すことができます。そして、こうした仕組みをつくっておけば、いざれ私がリタイアしても、ガウディの建築のように、終わることなく社会貢献を続けられるのです。

— 最後に、地球環境基金にメッセージがありましたらお聞かせください。

**黒田** 地球環境基金の幅広い活動は自然環境保護への共感を輪を大きく広げていると思います。私たちにとてもエゴジカルな活動は最も力を入れていきたい分野ですから、地球環境基金を通してさまざまな団体の活動を知ることは大変勉強になりますし、本業に取り入れる仕組みのアイデアも湧いてきます。今後、さまざまな新しい取り組みについても一緒に取り組んでいきたいですね。

1 お客様から買取りの申込み



2 段ボールに詰めた本などを宅配便で無料で引取り



3 ネットオフに到着



在庫数100万点以上の品ぞろえを誇る商品センター



届いた商品は1点ずついいねにチェック。買取金額を査定する

4 お客様の買取金額をお知らせ、あわせて寄付コースをご紹介します

選べる6つの寄付コース

4 女性の健康と自立支援コース	1 森林の保護コース
5 途上国の支援コース	2 東日本大震災復興支援・日本赤十字コース
6 身障者の支援コース	3 自然環境保護コース 寄付先/地球環境基金ほか

5 お客様が買取代金の中から寄付先と寄付額を任意で指定

6 ネットオフからも宅配買取の成約1件ごとに、10円〜50円を6つの寄付コースの社会貢献団体に寄付